

第2回大和高田市新庁舎建設基本構想等策定委員会 議事録

1 会議の名称	第2回大和高田市新庁舎建設基本構想等策定委員会
2 開催日時	平成29年 3月22日（水） 開会：10時00分 閉会：12時00分
3 開催場所	大和高田市役所4階 合同委員会室
4 議題	議題1 現状・課題整理について 議題2 新庁舎建設の必要性について 議題3 基本理念・基本方針について 議題4 アンケート結果について 議題5 スケジュールについて
5 非公開の理由（会議を非公開とした場合）	－
6 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名	委員15名中 15名出席 基本構想等策定委員： 三井田康記、増田武雄、清水裕子、河村憲一、宮本多喜子、和田利和、杵田定美、友田順子、佐々木央子、福西武之、阪本和子、辻岡勝治、野田安子、梅田全克、森美奈子 事務局：谷河財務部長、岡谷財産管理課長、小野財産管理課庁舎建設準備係長 （株）ニュージェック：小田、田中、上原、柴原
7 傍聴人の数	4名
8 会議資料の名称	資料1 大和高田市新庁舎建設基本構想〈検討案〉 資料2 第3章 庁舎整備の基本方針検討用の参考資料 資料3 市民アンケート調査結果 資料4 市民意見箱意見のまとめ 資料5 職員アンケート調査結果 資料6 基本構想・基本計画策定スケジュール
9 発言の内容	次頁以降による

【事務局】

（資料 1 大和高田市新庁舎建設基本構想〈検討案〉の説明）

【杵田委員】

p. 4(2)に平成 9 年の調査結果がありますが、この Is 値は強度、靱性のほか経過年数や建物の形状を考慮して算出される数値で、今となつては古いことから、資料の数値は参考として記載し、もう少しわかりやすい表現を中心にしたほうが良いのでは。

【三井田委員長】

この耐震診断は 20 年ほど前にされていますが、それ以降近年はされていないのですか。

【事務局】

近年は調査を行っておりません。学校の耐震性能が問題視される社会情勢の中で、この間大和高田市でも学校の耐震補強を実施してまいりました。庁舎に関しては Is 値の他、コア抜き調査もしましたが、コンクリートの劣化を示す中性化は進んでおりませんでした。今ようやく庁舎の整備を始めているところです。

【三井田委員長】

教育施設を優先したということですね。

【杵田委員】

実際の危険な状態を実感できないので、危険さをもう少しわかりやすく表現した方がよいのではないのでしょうか。不安を煽る必要はありませんが、安心ではないということが伝わるほうが良いと思います。

【辻岡委員】

築半世紀経っており、社会情勢も変わっています。当時は手描きの図面で設計されていますが、今は CAD を使うようになっています。数値は参考程度にして、現代のニーズに合うものを、また熊本大地震を経た今、庁舎がどうあるべきかを考えるべきだと思います。

【梅田委員】

現状倒壊の恐れがあるのがわかりますが、少し補強すれば Is 値 0.6 になるかどうか等の検討はされたのでしょうか。

【事務局】

そのような検討はしておりません。義務教育施設を優先して行ってまいりました。

【梅田委員】

優先順位があったことはわかりますが、通常は新庁舎建設の前に耐震補強を検討するという手順になると思いますが。

【事務局】

機能的な執務空間の確保、空調や配管等設備の老朽化もあり、このような結果が出た
当時から担当者間では新築の方を想定していたと認識しています。どのような工法があ
るのかなど耐震補強に関する情報収集はしておりましたが、費用の算出まではしていな
かったようです。

【梅田委員】

耐震診断から新庁舎建設というのは少し飛躍しているので、耐震補強にも目を向けた
のであれば、その経緯を基本構想に盛り込むべきだと思います。

【三井田委員長】

考える道筋をはっきり示してほしいということですね。

【杵田委員】

p.6(7)「庁舎の狭あい化」とありますが、総務省や国土交通省基準等に照らしたの
でしょうか。

【事務局】

次回委員会でお示しする第4章でそのような根拠資料をご提示します。

【杵田委員】

先ほどのIs値のように参考程度で出しても良いのではないですか。

【辻岡委員】

総務省の基準は、あくまでも今までの基準です。情報技術が発達し、紙媒体で保管す
るものが減りました。そのようなことも考慮して、本当に必要な面積や機能を算出すべ
きだと思います。

【三井田委員長】

ここに挙げられている課題で過不足はないでしょうか。

(他に意見なし)

では、事務局の方で少し表現をわかりやすく変えていただくよう、お願いします。

議題3 基本理念・基本方針について

【事務局】

(資料1「大和高田市新庁舎建設基本構想〈検討案〉」、資料2「3章庁舎整備の基本方
針検討用の参考資料」の説明)

基本理念に入りたいキーワードとして、参考に庁内で議論して出た言葉を紹介します。

「将来に安心な」「交流」「心豊かな」「やさしく」「人」「夢」「安心安全」「つよく」「夢
を育む」「人の絆」「地域の輪」「コンパクトシティ」「人にやさしく」などです。

【三井田委員長】

基本理念についてご意見があれば、お願いします。

【宮本委員】

「みなが集える」を入れたいです。市役所の中に、気軽に飲食できるスペースが欲しいです。待ち時間にちょっとコーヒーを飲めるような、用事がなくても市民が来られるような場所があったらよいと思います。

【清水委員】

今の意見を受けて「親しむ」という言葉はいかがでしょうか。

【三井田委員長】

建物が古くなっても残したくなるような、みなが愛せるような庁舎がいいですね。

【事務局】

「愛着」ということでしょうか。

【辻岡委員】

「愛着」は大事です。

【三井田委員長】

ストックホルムの市庁舎ではノーベル賞の授賞式が行われ、イタリアの市役所は結婚式の会場にもなるそうです。豪華な建物にする必要はありませんが、市長が宣言されていたように 100 年後に残せるような庁舎が良いですね。

【辻岡委員】

木をふんだんに使って、あたたかみのある、親しみのある庁舎にしたいです。

【佐々木委員】

子どもたちに対して心豊かにということで、少子高齢化ですが、「いろいろな思いを育む」という言葉を入れたいです。

【辻岡委員】

「集える」という言葉も必要だと思います。図書館で時間を潰している大人を庁舎に集めて、その結果として子供たちが図書館使えるようにすべきでは。

【友田委員】

畳の部屋があると良いです。防災拠点としても、高齢者や子供たちが使いやすいので。社会福祉会館にもありますが、一緒に座ることであたたかみのある場となります。

【梅田委員】

今この基本理念としてキャッチフレーズのようなものを検討していると理解しています。新庁舎で思い浮かべるいろいろな言葉を言えば、事務局がうまく繋いでくれるということですね。

【事務局】

いただいた言葉を繋ぎ、次回何案かご提案させていただきます。

【杵田委員】

「発信」。今の市のホームページもあまり更新されていませんが、大和高田市は P R

が下手だと思います。良い物があっても広く知られていません。

【清水委員】

シビックプライドを育むチャンスだと思います。桜や高田川の良さを改めて感じるのですが。

【三井田委員長】

やはり、気品のある庁舎が良いですね。

【佐々木委員】

特徴をアピールできる、イメージしやすい言葉を盛り込んだら良いと思います。市内の人でも知らないことがあると思います。

【三井田委員長】

大和高田らしさって何でしょうか。

【辻岡委員】

市民に対してどのように語るかだと思います。夜や休日にいる人が多いのであれば、やはり自然をPRすべきだと思います。

【梅田委員】

「夢を育む」「創造する」のように未来があるフレーズを入れたいです。

【河村委員】

どれもいいですが、全部盛り込むのは難しいのではないのでしょうか。いま高田川にある桜を植えた人たちは今のようになるとは思っていなかったでしょう。しかし20年、30年経って誇れるものになりました。庁舎も未来のことはわかりませんが、「誇れる」庁舎になってほしいです。

【三井田委員長】

大和高田の誇り、大和高田と言えれば思い浮かべるものは何でしょうか。大和高田市の色はあるのですか。

【事務局】

大和高田市のホームページは、桜から色をとり、淡いピンクと緑にしております。

【辻岡委員】

急にはそれほど案が出てこないの、ゆっくり考えたいです。次回までの宿題にしてはいかがでしょうか。

【三井田委員長】

それでは、次回までに何か考えがあればお願いするとして、事務局の方で今日出た言葉をもとに案を作成していただくようお願いします。

議題3 アンケート結果について

【事務局】

（資料3「市民アンケート調査結果」、資料4「市民意見箱意見のまとめ」、資料5「職員アンケート調査結果」の説明）」

【辻岡委員】

市民アンケートにある現庁舎の「陰気な雰囲気」やトイレ、エレベータの課題は少なくとも解決しなければなりませんね。

【杵田委員】

市民アンケート回収率43%とありますが、他のアンケートに比べてどうなのでしょう。市民の関心は高いのでしょうか。

【事務局】

他のものはおよそ40%程度なので、今回は少し多くなっております。

【杵田委員】

一方、職員アンケートは35%とありますが、これは職員全員に対する回収率ということでしょうか。

【事務局】

職員全員になります。

【梅田委員】

年度末の非常に忙しい時期に実施されたものなので、このような回答率になったのではないのでしょうか。必ずしも関心がないというわけではないと思いますが。

【事務局】

おっしゃられたように、時期が少し良くなかったかもしれません。

【宮本委員】

職員アンケートで「狭い」という意見が多いですが、今のような大きさの机がやはり人数分要るのでしょうか。机の大きさを変える、席を固定しない等の工夫で解消できないのでしょうか。

【清水委員】

営業色が強い業務であればできそうですが、色々な資料を同時に広げながら行う業務が継続してあるのであれば、やはりある程度の大きさの机が必要ではないのでしょうか。市役所の業務の特性として、実際はどうですか。

【事務局】

まさに色々な資料を見ながら入力もするような業務を継続的に行っております。一方、窓口業務の臨時職員はテーブルのようところで席を共有しています。情報技術により紙媒体のものが減るところもありますが、マイナンバーの関係もありセキュリティのた

め2系統のネットワーク、2台のパソコンを机に並べなければならない部署もあります。そうした行政の特殊性についてもご理解いただきたいと思います。

また、オフィスの机の仕様や配置の方法として、組織改編や異動に対応しやすいユニバーサルプランという考え方もあります。

【梅田委員】

総務省の基準はありますが、「多目的スペースが欲しい」という意見に対して、どのように規模を決めていくのでしょうか。

【事務局】

どのような使い方をして、どのような付加機能が必要なのか、まさにご意見をいただきたいところです。

【辻岡委員】

従来どおりにはできないということですね。増える一方なののでしょうか。

【梅田委員】

これは駐車場の規模にも関係する話なので、幅広い議論が必要だと思います。

【増田副委員長】

現在庁舎には50人を収容できる会議室がありません。そのため町総代連合会でもさざんかホールや消防署を利用しなければならず、その都度場所が変わり不便です。

【事務局】

多目的スペースなどの付加機能をどんどん広げたいという考えではなく、税収も人口も減る中で、将来を見据えて人口に応じた規模の庁舎を考えております。しかし、増田副委員長が言われたように、町総代連合会の方々には、外を転々としていただいている状況は、本来なら市役所の面積で提供させていただきたいという思いはあります。一方、プライバシーが保護された相談室など、昔には必要のなかった窓口の機能は、付加ではなく必要な機能と考えています。

【清水委員】

アンケートで書かれているのは、必要最低限の切実なニーズだと思います。多目的スペースは、具体的にどのような使い方をしたいのでしょうか。

【事務局】

大和高田市はコーラスが盛んな町で、これまでもロビーコンサートや幼稚園児のクリスマスキャロルを市役所玄関ホールで行っております。

【辻岡委員】

防災拠点としても、ホールの機能は必要ですね。

【事務局】

庁舎は災害時の司令塔としての機能はありますが、長期的な避難所となるわけではありませんので、留意すべきです。

【三井田委員長】

対市民サービスが変化してきています。窓口フロア全体が見渡せるような庁舎がいいですね。

【和田委員】

大和高田市は水害が多いですが、現状の指揮命令系統において、みなさんが把握できるようになっておりません。また受援するときの窓口機能が一箇所になっていないので、有事にはそのような用途にも使える「多目的スペース」は必要です。

また、基本理念に関してですが、現庁舎ができた当時、帰宅時の電車から窓の多い庁舎の光が明るく輝き、とても誇らしく思っていたという話を先輩方からききました。やはり市民が「誇れる庁舎」であってほしいと思います。

【梅田委員】

人口は減少するかもしれませんが、行政は生き物だと思います。過去の経緯から見てもニーズは増え、新しい部課ができていますし、最も地域に密着した市役所の職員が減ることはないと思います。柔軟性も必要ですが、20年後になったらスペースが余るというイメージはないと思います。

【辻岡委員】

体育館を建ててほしいという意見もありますが、庁舎建設の予算があるのならば、例えばとても柔軟なものを建てて、状態に応じてフロア単位で市民に開放できるようにするのはどうでしょうか。

議題4 スケジュールについて

【事務局】

（資料6「策定スケジュール」の説明）

来年度発表が予想されている交付税措置の関係で、このスケジュールが前倒しになる可能性がありますので、ご承知おきください。

次回委員会の日程については、改めて調整させていただきます。

【三井田委員長】

他に意見等はありませんでしょうか。

（意見等なし）

それではこれで委員会を終わりたいと思います。

ありがとうございました。